

令和5年度社会科 授業改善推進プラン

大田区立糀谷中学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・2年生は、地理・歴史共に基礎、活用共に目標値を下回っているが、例えば鎌倉幕府の政治のしくみや外国との関係についての内容では、デジタル教科書に載っている画像や資料を活用しながら学習を進めたことにより目標値を大きく上回った。授業ではなるべく多くの画像や資料を用いることで、生徒の内容理解を促したい。
- ・3年生は、歴史領域において基礎、活用共に目標値を下回っているが、地理領域では目標値を上回った。その中でフォッサマグナ、江戸時代の産業に関する知識・理解を問う問題、及び自然環境を生かして農業を行うことについて思考力を問う問題では目標値を大きく上回った。引き続き語句のみならずそうした事象が起こる理由を考えることで理解を深めていく。

(2) 課題

- ・2年生は、基礎・活用どちらも目標値を下回っているが、特に地理・歴史ともに資料の読み取りに関する問題での正答率が低かった。基礎知識が高いわけではないので、中学1年の時に学習した基礎的な知識は復習する必要があるが、その知識を資料と組み合わせて理解させることが課題である。
- ・3年生は、江戸時代や明治時代に関する多くの問題で目標値を大きく下回った。語句の理解を確実にすると共に、複数の資料を参照して思考し、問題解決に向けて粘り強く取り組む姿勢を身に付けることが課題である。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

	令和5年度結果	令和4年度結果	令和3年度結果
第1学年	3つの観点全てで目標値を下回っていた。	/	/
第2学年	3つの観点全てで目標値を下回っていた。	3つの観点全てで目標値を下回っていた。 (第1学年時)	/
第3学年	3つの観点全てで目標値を下回っていた（思考・判断・表現においては－1.1、主体的に学習に取り組む態度においては－1.8）。	3つの観点全てで目標値を下回っていた。 (第2学年時)	3つの観点全てで目標値を下回っていた。 (第1学年時)

(2) 分析（観点別）

① 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値を10ポイントほど下回っている。23問中、▼の評価が18問もあり、知識	目標値を8ポイントほど下回っている。11問中、▼の評価が5問あるが、≡とされ	目標値を9ポイントほど下回っている。「知識・技能」と重なっている問題が3問、

の定着はもちろん、資料活用能力が低いことが明白である。ただ、日本の食料自給率の様子を読み取る問題のみ、目標値を上回っていた。	た問題も多い。日本の食料生産の問題中、「複数の資料を読み取り関連性を考える」問題の評価は目標値に近いが、「資料を読み取り自分なりに判断できる」問題は、正答率28%と低かった。	「思考・判断・表現」と重なっている問題が5問ある。特に、「世界の中の国土」「日本の食料生産」の問題が、後者と全て重なり、全て目標値を下回っている。
--	---	---

② 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値の達成率が昨年度よりも下回り、▼の評価となっている。一方で、鎌倉幕府の政治のしくみや外交との関係については、目標値を大きく上回り△となっている。	ほとんどの内容で目標値を下回っており、▼の評価となっている。ヨーロッパの国々が航空機製造の国際分業を行っている理由が、目標値と同じであった。	全ての内容で目標値を下回っており、▼の評価になっている。特に資料の読み取りでは地理・歴史ともに目標値を10.0ポイント以上下回っていた。

③ 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
フォッサマグナ、江戸時代の産業についての問題の正答率が目標値を15ポイント以上上回った。一方で株仲間や大日本帝国憲法についてなど、江戸時代や明治時代に関する多くの問題で目標値を下回り、全体では4.5ポイント下回った。	自然環境を生かして農業を行うことについて考察する問題は目標値を10.7ポイント上回った。一方で資料を基に発電所の分布について考察する問題が11.2ポイント下回るなど、全体としては1.1ポイント下回った。	自然環境を生かして農業を行うことについて考察する問題は目標値を10.7ポイント上回った。一方で明治初期の政府の特色について資料を読み取って考察する問題が8.1ポイント下回るなど、全体として目標値を1.8ポイント下回った。

3 授業改善のポイント（観点別）

(1) 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
「知識」の定着が大幅に不足していることが浮き彫りになったので、既習内容の小テストを繰り返し行うことで、基礎学力の定着を図る。	地理でも歴史でも、適切な資料を活用して、解説をさせる反復学習を行うことで、資料の読み方や思考を深めていくことを行う。	タブレットを使用した調べ学習やレポート作成、発表会などを行うことで、生徒が主体的に学習に取り組めるよう工夫する。

(2) 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
今回の結果から、地理では日本の姿、歴史では縄文時代～平安時代までが目標値を下回っていたので、理解不十分な内容を反復学習によって	資料の読み取り問題で正答率を落としているので、授業中に資料を基にした読み取り学習を取り入れる。1人で考察する時間と社会科班（4	タブレットやデジタル教材を活用した調べ学習を行わせることで、社会的事象に対する興味を深める。また他の生徒の発表を聞くことで、さ

理解を深めさせる。	人) で発表する時間を設けることで理解を深めさせる。	らなる学習意欲の向上を促す。
-----------	----------------------------	----------------

(3) 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
語句を問うだけでなく、随時資料を読み取る学習を取り入れ、得た知識が相互に関連付けられるようにして知識・理解の定着を図る。	さまざまな知識、資料を関連付けて思考するように促す。またタブレットを活用し意見を交流し、そのことにより思考の広がり・深化を図り、生徒の社会的な見方・考え方を働かせて学習に取り組む。	板書をただノートするだけでなく、自分が興味・疑問を感じたことについて調べそれを学習に生かすようにする。また生徒同士で意見を交流することで考えを深める。